

こどもの ほんだな

大阪市立図書館子どもの本棚委員会編
大阪市立中央図書館

2026



は し が き

大阪市は2026年3月、「第5次大阪市子ども読書活動推進計画」を策定しました。「大阪市のすべての子どもがいきいきと読書を楽しめる読書環境の整備」を基本方針に据え、子どもたちがさまざまな機会に読書に親しめるよう、多くの施策を掲げています。

計画には「紙媒体か電子か、活字の本か漫画か絵本かなどにとらわれることなく、読みたいと思える本が身近にあれば子どもは本を読むようになる」と記しています。電子書籍などの媒体で読むことも「読書」、絵や漫画などの表現方法を楽しむのも「読書」です。「タブレットばかり見て…」「高学年だから絵本ではなく物語を読んだら…」の声かけが逆に読書離れにつながらないように、「読書」の概念そのものを見直すことが大切ではないでしょうか。

中央図書館では、2025年1月に「しらべものへのとびら」というスペースを新設し、人気の学習漫画や図鑑をそろえました。居心地のいい雰囲気の中、友だち同士で、家族連れで読書を楽しむ様子が見られます。図書館に来たら楽しいことがある、読みたい本が見つかる。そう感じてもらえることで、少しでも子どもたちが読書に親しめるようになればと思います。

『こどものほんだな』もきっかけのひとつ。「何を読んだらいいのかわからない」と迷ったとき、どうぞ手に取ってください。50年以上前から毎年お届けしているこの冊子、子どもたちひとりひとりがお気に入りを見つけることができるよう心を込めて、幅広いジャンルの本を紹介しています。豊かな読書体験への扉になれば、このうえない喜びです。

大阪市立図書館子どもの本棚委員会

●大阪市立図書館「こどものほんだな」ページをご覧ください

「こどものほんだな2012 50周年記念号」から最新号までPDF形式で公開しています。また、図書の書誌情報と紹介文を、オープンデータとして公開しています。



大阪市立図書館 HP

●「大阪市LINE」でおすすめの絵本を紹介しています

「大阪市LINE」の「子育て」>「こどものほんだな」のメニューから、大阪市立図書館子どもの本棚委員会が選定した、おすすめの絵本や児童書を紹介しています。対象年齢やジャンルなどで検索もできます。



大阪市 LINE

凡 例

1. この目録に収録した図書は、2024年12月から2025年11月までに選んだものです。
2. 図書は、ジャンル別に分け、対象年齢順に並べています。
段階ごとに点線で区切り、同一区分の中は、書名の50音順に配列しています。対象年齢の区分は、次の6段階です。
赤ちゃん～
幼児～
小学校低学年（小・低学年と表示）～
小学校中学年（小・中学年 〃 ）～
小学校高学年（小・高学年 〃 ）～
中学生～
3. ジャンルは、次の6項目としました。
 - ①本の世界のはじめに（絵本）
 - ②物語
 - ③よみがえってきた物語
 - ④歴史・伝記物語
 - ⑤詩・ずいひつ・記録
 - ⑥知識の本
4. ☆印をつけてあるものは、絵本の形式をとっています。
◆印をつけてあるものは、行事など多人数に向けての読み聞かせに適していると判断したものです。
5. 図書に関する記載事項は、次の順になっています。
書名／著編者・画家・訳者
※著編者・画家・訳者は、それぞれ著・絵・訳と表記を統一しています。
出版社／出版年／本体価格／ページ数／本の大きさ（絵本のみ）／
対象年齢／ISBN
※表紙画像は、出版社の許諾が得られたものを掲載しています。
6. 巻末の索引は、対象年齢別に配列しています。
7. 物価事情により、図書の価格が変更されているものや、出版社の事情により、絶版になったものもありますのでご了承ください。

表紙デザイン：江上恵子

も く じ

○ 本の世界のはじめに（絵本） ○

くだもの らららん	6
たいこどんどん	6
ぴったりこ	6
あかりを ひとつ ともしてみたら	7
おひげピンピン	7
おやつどろぼう	7
ぐうたらねこ	8
ともだち	8
はじめての うみ	8
まよなかの おはなしかい	9
ゆきのこえ	9
ひぐま	9
みんな みんな とっても すてき	10
シリアの秘密の図書館	10

○ 物語 ○

どろぼうジャンボリ	10
のこったスイカはだれのもの	11
ペンギンのトビオ	11
山の学校 キツネのとしよいいん	11
おばあちゃんのあかね色	12
煙のように消えるねこ	12
ゴロゴロヤマネコ不動産 —なんだかあやしいおすすめ物件—	12
サメのイエニー	13
それからぼくはひとりで歩く	13
マイヤーさんと大きくなりすぎた犬	13
王様のキャリー	14

おおなわ跳びません	14
風花、推してまいる！	14
銀樹	15
この手はいつか	15
しじんのゆうびん屋さん	15
白い虹を投げる	16
ダンス・フレンド	16
中国のフェアリー・テール	16
読書感想文が終わらない！	17
マナティーがいた夏	17
みおちゃんも猫 好きだよね？	17
アリーチェと魔法の書	18
カトーレンの王	18
ぼくの中にある光	18
みかんファミリー	19
森に帰らなかったカラス	19
森のユキヒョウ	19

○ よみつがれてきた物語 ○

ティンガティンガ・アートでたのしむアフリカのむかしばなし	20
ふしぎな はごろも	21

○ 歴史・伝記物語 ○

加藤セチと女性科学者たち	21
--------------	----

○ 詩・ずいひつ・記録 ○

きたよ きたよ きせつのこ	22
一郎くんの写真 一日章旗の持ち主をさがして—	22
子どもも兵士になった —沖繩・三中学徒隊の戦世—	22

○ 知識の本 ○

つめたい こおり どんなかたち？	23
テントウムシ みっけ！	23
みっちりつぶつぶとうもろこし	23
おせち	24
すずめばち	24
わたしの ちいさな いきものえん	24
巨石運搬！ ー海をこえて大阪城へー	25
「植物」をやめた植物たち	25
スマイルカットでみんな笑顔に！	
ー発達障がいの子どもによりそう美容師さんー	25
てんぐさ ーだいかつやく うみの まっかな かいそうたちー	26
みんなをつなぐアイヌの糸	26
世界の納豆をめぐる探検	26
パンダのタンタン ー二人の飼育員との約束ー	27
もしも明日、ぼくの足がなくなったら	27
ONE DAY ーホロコーストと闘いつづけた父と息子の実話ー	27

○ 本の世界のはじめに（絵本） ○

..... 〈赤ちゃん〜〉

★◆くだもの らららん

金内織恵著・絵 童心社 2025

¥1,000 20p 21cm 赤ちゃん〜 978-4-494-02254-0



りんごやバナナ、メロンなどが実をつける様子を写実的な絵で伝える。ページをめくると、収穫したばかりの葉や茎がついたくだものと、皮をむいた姿が画面に並ぶ。「ゆさゆさ のびのび」「しゃり しゃり しゃりり」など添えられるオノマトペが心地よい。葉脈の感触や果肉のみずみずしさに、思わず手を伸ばしたくなる絵本だ。

★◆たいこどんどん

三浦太郎著・絵 ブロンズ新社 2025

¥1,400 32p 21×22cm 赤ちゃん〜 978-4-89309-739-2



たいこを「どん どん」とたたくと、トランペットが「ぷっぷー」とやってきた。さらに笛やシンバル、三味線が加わり、おみこしやサーカスも登場する。単純化された形と明るい色彩の切り絵が、パレードを盛り立てる。心躍るリズムカルな楽器の音が楽しく、声に出して読みたくなる。観音開きのページに描かれた大行列は圧巻だ。

★◆ぴったりこ

木坂 涼著 及川賢治絵 福音館書店 2025

¥900 20p 20×20cm 赤ちゃん〜 978-4-8340-8868-7



小さな牛が、おかあさん牛のおなかに「ぴったりこ」とくっついた。カンガルーの親子は「すっぽりこ」、鳥の親子は「ほんわりこ」と身を寄せ合い、安心した表情を浮かべる。シンプルだが奥行きを感じさせる輪郭と、明るい色彩の絵が目を引き。リズムカルな言葉にのせて、親子でスキンシップをとりながら読みたくなる絵本だ。

☆あかりを ひとつ ともしてみたら

クリスティ・マシソン著 アヌスカ・アレプス絵 ふしみ みさを訳
光村教育図書 2025

¥1,600 40p 26×26cm 幼児〜 978-4-89572-158-5



冷たい雨風が吹く夕方、突然町中が停電になった。心細くなったコトリちゃんは、町の人も寂しくないようにランタンに火を灯した。すると、それを見て元気をもらった人が、さらに1つあかりを灯す。ささやかな思いやりから始まる優しさの連鎖に心が和む。薄暗い町並みに黄色やオレンジ色が映える絵からは、温もりが伝わる。

☆◆おひげピンピン

しもかわら ゆみ著・絵 講談社 2025

¥1,400 24p 22×23cm 幼児〜 978-4-06-539337-6



「ねこさんの おかおの ピンピン、なんですか？」ねこ、やぎ、あしかなどの動物が画面いっぱい顔に寄せ、素敵なひげを自慢する。「ツツツツツツ」「フツサリ フツササ」とひげの固さや手触りを表すオノマトペが心地よく、写実的な絵で描かれる一匹一匹の得意顔が愛らしい。最後に意外な動物が登場し、笑いを誘う。

☆◆おやつどろぼう

阿部 結著・絵 福音館書店 2025

¥1,200 31p 20×27cm 幼児〜 978-4-8340-8820-5



夜中、アカーキーは母さんの隠したケーキを探して冷蔵庫をのぞく。すると、ケーキを持ち去る小人たちがいた。後を追うとおやつがいっぱいの大広間にたどり着く。おやつを盗んで食べて寝てばかりいる小人たちの少し不気味な姿に、笑いを誘われる。山盛りのおやつが積まれた夢のような場面は色彩豊かで、一緒に食べたくなる。

☆◆ぐうたらねこ

ひがし ちから著・絵 佼成出版社 2025

¥1,500 32p 25cm 幼児～ 978-4-333-02934-1



飼い猫「ぐうたら」はぐうたらしているのに皆に褒められ、はるくんはそれがうらやましい。大切なキーホルダーをなくしたはるくんは、ぐうたらを連れて家の中を探すが、猫は見ているだけで知らんぷり。温かい色調と柔らかい筆致で描かれた、猫の愛らしいしぐさや表情に癒される。マイペースな猫と少年の交流がほほえましい。

☆ともだち

リンダ・サラ著 ベンジー・デイヴィス絵 しらい すみこ訳

ひさかたチャイルド 2024

¥1,600 32p 24×27cm 幼児～ 978-4-86549-336-8



ぼくとエトはいつも「ふたり いっしょ」、毎日丘の上に行っては段ボール箱で遊んでいた。ある時、シューという男の子がやってきて、エトはシューと遊ぶようになる。関係の変化に戸惑い葛藤する主人公の姿を、明るい色彩と優しい印象の絵で丁寧に描く。最後は「さんにな いっしょ」に仲良く過ごす結末に、心温まる。

☆はじめての うみ

山下明生著 くすはら順子絵 ひさかたチャイルド 2025

¥1,300 32p 25cm 幼児～ 978-4-86549-353-5



女の子は初めて海を訪れた。兄から聞いていたのは、水平線の向こうにある雲の国。浮き袋をつけて兄と海に出ると、入道雲がウマやクマの形で湧き出し、リュウマで現れた。少女の視点を通した海での一日は新鮮で、わくわくする。にわか雨や水平線の光など天候によって変わる海の姿を、様々な青の色調を用いて描いている。

☆まよなかの おはなしかい

ギデオン・ステラー著 チャールズ・サントソ絵 ひさやま たいち訳
評論社 2025

¥1,800 40p 23×29cm 幼児～ 978-4-566-08111-6



男の子は寝る前にママから怖い話を読んでもらうのが大好き。おばけには寝かしつけてくれる人がいない。だったら自分が読んであげようと思いつく。丘の上から呼びかけると、おばけが次々とやってきた。骸骨や巨人、幽霊たちが、特徴を捉えつつも愛らしく描かれる。お話を楽しみに待つおばけたちの表情に、笑みを誘われる。

☆ゆきのこえ

おーなり由子著 はた こうしろう絵 講談社 2024

¥1,600 32p 26cm 幼児～ 978-4-06-537471-9



朝目覚めると、外は一面真っ白。男の子が長靴で雪を踏むと「くすす、きゅっ」と雪が笑っているよう。地面に寝転がると「ぐぐぐ くふっ」と雪が耳元でささやく。しんと静かな寒い日に聞こえる雪の声が多様な擬音で表現され、声に出すと楽しい。雪を全身で感じて遊ぶ男の子の表情がいきいきと描かれ、心躍る気持ちが伝わる。

..... 〈小学校低学年〜〉

☆ひぐま

あべ弘士著・絵 ブロンズ新社 2025

¥1,600 32p 26cm 小・低学年～ 978-4-89309-746-0



実りの秋が終わり、雪に覆われた山の中。ひぐまの巣穴で赤ちゃんが生まれていた。赤ちゃんぐまは母親のお乳を飲んで、すくすく育つ。「あの トントンは なんのおと？」「はるって おいしいの？」など、地面の下で交わされる親子の会話がほほえましい。力強い筆致で色鮮やかに描かれる、大自然と森の動物たちが印象的だ。

☆みんな みんな とっても すてき

バティスト・ボーリュウ著 チェン・レン絵 ひがき ゆみ訳

ひさかたチャイルド 2025

¥1,800 32p 28cm 小・低学年～ 978-4-86549-340-5



女の子は、どんな人にもその体ゆえの物語があると、医師だった祖父から教わった。祖父は町を歩きながら、ストレスでやせすぎている男や心配性で眠れない店員など、自分の知る彼らの「体の物語」を孫娘に語る。特徴を捉えた柔らかなタッチの絵で個性豊かに登場人物を描く。ありのままの姿を認め合い、愛する大切さが伝わる。

..... 〈小学校中学年～〉

☆シリアの秘密の図書館

ワファー・タルノーフスカ著 ヴァリ・ミンツィ絵 原田 勝訳

青山弘之アラビア語・巻末解説監修 くもん出版 2025

¥1,600 32p 28cm 小・中学年～ 978-4-7743-3853-8



内戦下のシリア、少女はがれきの中から集めた本で秘密の図書館を作ろうと思いついた。やがてその図書館は、多くの人への拠り所となっていく。本の存在が戦火の人々の心を救った、実在した図書館をモデルとした物語だ。木炭で描く暗い戦争の中に、色鮮やかな絵具で描かれる子どもたちからは、明日を生きる希望が伝わってくる。

○ 物語 ○

..... 〈小学校低学年～〉

どろぼうジャンボリ

阿部 結著・絵 ほるぷ出版 2025

¥1,400 60p 小・低学年～ 978-4-593-10485-7



ジャンボリの宝物は書き損じで捨てられた「てがみのたね」。人々の家に忍び込んでゴミ箱から盗んでいた。ある日、新しい町長が手紙を禁止してしまう。細部まで描きこまれた手紙や、それらを読み書きする人々の表情から、手紙をやりとりする楽しさが伝わる絵童話だ。ジャンボリのしぐさがユーモラスに描かれ、笑いを誘う。

のこったスイカはだれのもの

山下明生著 高畠 純絵 理論社 2025

¥1,400 61p 小・低学年～ 978-4-652-20695-9



海のそばの畑に残った小さなスイカ。そこへネズミやモグラなどが次々に来て「大きくなあれ」と育てていく。大きく育つと、「自分のものだ」とみんなはケンカを始める。畑の世話をする動物たちや、浜辺で繰り広げられるスイカ割りの様子をユーモラスに描く。各ページの挿絵も楽しく、見開きいっぱいの真っ赤な果肉は圧巻だ。

ペンギンのトビオ

斉藤 倫著 うきまる著 ^{だけ}嶽 まいこ絵 偕成社 2025

¥1,200 77p 小・低学年～ 978-4-03-439600-1



南極に住むトビオは、文通相手である北極のシロクマに会いに行くことにした。スーツケースいっぱいに氷を詰め、空港で親切にしてくれた人にはお礼に魚を渡そうとする。初めてひとり旅をするペンギンの子どもの緊張や不安、道中で出会う様々な動物との交流をコミカルに描く。かわいらしい挿絵もお話の雰囲気合っている。

山の学校 キツネのとしょいいん

葦原かも著 高橋和枝絵 講談社 2024

¥1,500 95p 小・低学年～ 978-4-06-536058-3



深い山のふもとにある小学校の図書室に子ギツネのリンがやってきた。本を「ピッ」としたいというリンは、学校司書のかえでさんと校長先生のはからいで、憧れの図書委員となる。図書室に来る子どもたちとの交流や、冬越しに備え山に戻るためにお別れする様子がほのぼのと描かれる。柔らかいタッチの挿絵がかわいらしい。

おばあちゃんのあかね色

楠 章子著 あわい絵 佼成出版社 2024

¥1,400 96p 小・中学年〜 978-4-333-02931-0



大好きな祖母が認知症になり、同居することになった杏。おしゃれだったのに地味な服を着て、同じことを何度も聞くなど以前と違う様子に、杏はショックを受ける。身近な人の変化に戸惑う少女の気持ちを等身大に描く。祖母に服をコーディネートする杏の姿から、認知症になってもその人らしく生きてほしいという想いが伝わる。

煙のように消えるねこ

リンダ・ニューベリー著 丹地陽子絵 田中薫子訳 徳間書店 2025

¥1,500 74p 小・中学年〜 978-4-19-865974-5



小学生のサイモンは、隣家の庭で草花に話しかけるおばあさんを目にする。夜、多くの猫たちが彼女を囲みうれしそうにすり寄るが、一匹だけ塀の上から遠巻きに見ていた。不思議なおばあさんと猫の謎を解こうとする少年の姿を描いた心温まる物語だ。柔らかなタッチの挿絵も、猫への愛情にあふれたお話の雰囲気合っている。

ゴロゴロヤマネコ不動産 —なんだかあやしいおすすめ物件—

藤重ヒカル著 樋口モエ絵 福音館書店 2025

¥1,700 132p 小・中学年〜 978-4-8340-8824-3



人と不思議な動物たちが織りなす3つの連作短編集。猫山さんが紹介するちょっと怪しい物件は、格安家賃だが変わった条件がある。それは、傘職人は店の看板を変えないこと、料理人は月曜日だけヤギのお客に紙料理を出すことだ。それぞれの条件は動物たちのためであるが、最終的には登場人物みんなに幸せが訪れ、心が温まる。

サメのイエニー

リーサ・ルンドマルク著 シャルロット・ラメル絵 よこの なな訳

岩波書店 2025

¥1,700 156p 小・中学年～ 978-4-00-116056-7



小学2年生のイエニーは、大声を出さずにひとり静かに過ごしたいが、周囲は理解してくれない。群れないサメに親しみをもつ彼女は、水族館でサメに悩みを相談し、自分を変える必要はないとの助言をもらう。ありのままの自分を理解してもらうために努力する少女をいきいきと描く。手紙で先生に気持ちを伝える姿に励まされる。

それからぼくはひとりで歩く

アリシア・モリーナ著 いぬぼうしほ 犬吠徒歩絵 星野由美訳 ほるぷ出版 2025

¥1,450 105p 小・中学年～ 978-4-593-10534-2



目が見えない11歳の少年ハイメは、家族に付き添われ登下校している。ある日、気になる女の子の前で強がって、ひとりでバスに乗りこむが、荷物を置き忘れたり、屋台につまづいたりトラブルにみまわれる。盲目の彼が困難を乗り越えようと奮闘する大冒険の一日を、時系列で描く。手を差し伸べる周りの温かさに心が和む。

マイヤーさんと大きくなりすぎた犬

リリアン・ムーア著 レオーネ・アデルソン著 kei saito絵

小宮 由訳 さ・え・ら書房 2025

¥1,500 90p 小・中学年～ 978-4-378-01568-2



飼い犬のバターボールは、いたずらを繰り返し、飼い主は困り果てていた。捕獲人のマイヤーさんに引き取ってもらうが、無愛想で恐れられる彼は、実は犬好きで捕獲した犬たちを世話していた。無邪気なバターボールが愛らしく、お話に合った絵も魅力的だ。誤解が解けて、マイヤーさんと町の人が打ち解ける結末に心が和む。

王様のキャリー

まひる著 講談社 2024

¥1,450 173p 小・高学年〜 978-4-06-536494-9



中学2年生の勝生^{かつき}は、同い年で車椅子ユーザーの理王^{りお}と出会う。eスポーツの動画配信で王様と呼ばれる理王に、ゲームのランク上げを手伝う「キャリー」をしてもらい仲良くなるが、大会への参加をめぐって衝突する。緊迫感あふれるゲーム描写を背景に、弱気な勝生と鬱屈を抱える理王が、信頼関係を築く姿に胸が熱くなる。

おおなわ跳びません

赤羽じゅんこ著 マコカワイ絵 静山社 2024

¥1,400 203p 小・高学年〜 978-4-86389-850-9



足が少し不自由な双葉は、5年2組の皆に迷惑をかけたくなくておおなわ大会に出ないと宣言する。彼女の言葉に、運動が苦手な廉や全員で参加したい舞花は複雑な気持ちになる。皆で楽しめるルール作りの様子を、クラス7人の視点から描く。全員での大会参加に向け、気持ちをぶつけ合いあきらめず取り組む姿に勇気がもらえる。

かざばな

風花、推してまいる！

黒川裕子著 タカハシ ノブユキ絵 岩崎書店 2024

¥1,400 194p 小・高学年〜 978-4-265-84050-2



「無事・無難・無風」がモットーの6年生・成里^{なりさと}は、偶然見た大衆演劇の派手さに衝撃を受ける。劇団風花の子役・紫寿^{しのぶ}が転校してきたことを契機に、成里は舞台の世界にひかれていく。自分たちで脚本を作ることで一座に新しい風を吹きこもうとする姿を、いきいきと描く。少年たちが友情を育んでゆく様子に、心が温かくなる。

銀樹

森埜こみち著 日下 明絵 アリス館 2024
¥1,500 212p 小・高学年～ 978-4-7520-1108-8



孤児のシンは、重傷の自分を助けてくれた薬師^{くすし}マボウの弟子になった。長じて薬師となった彼は師から「銀樹」について教えられる。高い薬効目当てに独占を目論む領主や要求に揺れる里の人々、樹を守ろうとする薬師の心情を、静かな筆致で描く。希少なものを、守ることと分け合うことの両立の難しさについて、考えさせられる。

この手はいつか

中山聖子著 保光敏将絵 文研出版 2025
¥1,500 221p 小・高学年～ 978-4-580-82669-4



母が突然姿を消し、5年生の真潮^{ましろ}は萩焼^{はぎやき}の窯元である祖父の家で夏休みを過ごす。学校で暴力をふるった彼は、母に捨てられたのではと苦悩するが、口下手な祖父や天衣無縫な希沙と過ごすうち、気持ちを言葉で伝えられるようになってゆく。感情のまま動いていた手が、焼き物を作り人を助ける手に変わってゆく様が、清々しい。

しじんのゆうびん屋さん

斉藤 倫著 牡丹靖佳絵 偕成社 2024
¥1,600 129p 小・高学年～ 978-4-03-643260-8



郵便局で働くガイドーとトリノス。手紙をもらったことがない灯台守にガイドーが匿名で手紙を書き、トリノスが届けた。詩のような文章が評判を呼び、2人は街の人々にも手紙を出すようになる。恋文を書きたい女の子やけんかした父親に手紙を書きたい男の子など、各々に寄り添う詩が、彼らの心を動かす様子に胸を打たれる。

白い虹を投げる

吉野万理子著 黒須高嶺絵 G a k k e n 2025
¥1,600 231p 小・高学年～ 978-4-05-206059-5



6年生のヤヤは転校先の野球チームになじめず、元チームメイトの葉^は央^おは人数不足で試合ができない。2人はメールで励まし合い、「キャッチボールクラシック」での再会を誓う。仲間との距離感や運動制限のある弟への遠慮等、各々の悩みに向き合う姿をテンポよく描く。キャッチボールで心を通わせる様子に、胸が熱くなる。

ダンス・フレンド

カミラ・チェスター著 早川世詩男絵 榎田理絵訳 小峰書店 2024
¥1,700 206p 小・高学年～ 978-4-338-30813-7



ダンスが好きな11歳のレオは、場面かんもく症で家族としか話せない。彼は引っ越してきたリカと友だちになりたいが、うまく話せないので手紙を書く。しかし、実は彼女は読み書きができなかった。仲違いした2人が相手のことを思いやって、ダンス発表会で歩み寄る姿に、胸が熱くなる。躍動感あふれるダンスの描写に心が弾む。

中国のフェアリー・テール

ローレンス・ハウスマン著 松岡享子訳 福音館書店 2024
¥1,700 27p 小・高学年～ 978-4-8340-8804-5



芸術に強い思いを抱きながら画塾の下働きをする少年ティキ・プーは、壁に飾られた300年前の画家ウイ・ウォニの絵に魅入られた。ある夜、プーが主人に隠れて絵を描いていると、名画の中からウォニが現れる。偉大な老画家と少年の交流を感動的に描いた物語だ。挿絵を排し言葉だけで表現された世界が読者の想像をかきたてる。

読書感想文が終わらない！

ぬかが みお
額賀 滢著 s a t s u k i 絵 ポプラ社 2025
¥1,600 239p 小・高学年～ 978-4-591-18614-5



6年生の栄人は読書感想文の本を探しに学校の図書室に行き、中学生のフミちゃんに出会う。彼女の助言で本の感想だけでなく自分のことも書くうちに、栄人は水泳教室での悩みに気づいた。感想文を通じて5人の小学生が自分と向き合う姿を、爽やかに描いた連作短編集だ。著者による巻末の読書感想文の書き方講座も参考になる。

マナティーがいた夏

エヴァン・グリフィス著 多賀谷正子訳 ほるぷ出版 2024
¥1,600 357p 小・高学年～ 978-4-593-10430-7



11歳の夏、ピーターは祖父の世話をしつつ、親友と生き物発見ノートの完成を目指す。しかし、運河で発見したマナティーのけがや祖父の認知症の悪化等、次々に問題が襲う。ひとり奮闘するピーターは、親友との仲直りを契機に周囲の言葉を受け入れ、困難に向き合っていく。少年の葛藤と成長が丁寧に描かれ、物語に引き込まれる。

みおちゃんも猫好きだよね？

神戸遙真著 金の星社 2024
¥1,500 175p 小・高学年～ 978-4-323-07551-8



6年生の^{あかり}朱梨のクラスに、みおが転校してきた。みおは周囲になじむため、猫アレルギーであることを隠すが、猫のいる店でみおの誕生日会が計画されてしまう。アレルギーや色覚特性等、見た目ではわからない困難を抱える人々の思いが丁寧に描かれる。相手を知ろうとすることや、違いを認めた上で互いを尊重する大切さが伝わる。

..... 〈中学生〜〉

アリーチェと魔法の書

長谷川まりる著 松井あやか絵 静山社 2025
¥1,500 288p 中学生〜 978-4-86389-901-8



世界に1冊しかない魔法界の全ての呪文を収めた「魔法の書」。その守り手一族のアリーチェは、13歳の誕生日に魔法使い以外読めないはずの魔法の書が読めてしまった。魔法使いに憧れる少女が魔法界の混乱に巻き込まれていく、手に汗握る物語だ。魔法の書を巡る歴史と共に守り手一族の秘密が明かされ、世界観に引き込まれる。

カトーレンの王

ヤン・テルラウ著 にしざか ひろみ絵 西村由美訳 小学館 2024
¥1,600 341p 中学生〜 978-4-09-290676-1



カトーレン国では、王の死後6人の大臣が政治を行っていた。王が死んだ日に生まれたスタッハは17歳になり、国王になると決意するが、大臣たちにドラゴン退治等7つの試練を課される。青年が柔軟な発想で難問を解決していく姿が爽快だ。社会問題がうまく取り入れられ、マジメーダ大臣など特徴を捉えた人物名や都市名も面白い。

ぼくの中にある光

カチャ・ベーレン著 原田 勝訳 岩波書店 2024
¥2,200 250p 中学生〜 978-4-00-116053-6



海辺育ちで荒々しい気性のゾフィアと、暗闇と騒音を怖がるトムは、親の再婚で家族になった。元の生活を好んでいた2人は互いを受け入れられず、ゾフィアは妹の誕生にも疎外感を覚える。11歳の多感な少女と少年の葛藤を、各々の視点から交互につづる。父発案のボート作りを機に、認め合い支えあっていく姿に、胸が熱くなる。

みかんファミリー

椰月美智子著 講談社 2024

¥1,600 252p 中学生～ 978-4-06-536492-5



中学1年生の美琴は、母と祖母の3人暮らし。ある日突然、母の友人家族との共同生活が始まり、しかも変わり者の同級生野々花が一緒だった。納得できない美琴だが、母の病気や野々花の母の失踪を経て、徐々に2人は打ち解けていく。未完成の家族が互いを認め、補い合うようになる過程が丁寧に描かれ、温かい読後感を残す。

森に帰らなかったカラス

ジーン・ウィリス著 しらこ絵 山崎美紀訳 徳間書店 2024

¥1,600 300p 中学生～ 978-4-19-865894-6



1957年、ロンドン郊外に住む11歳のミックはケガをしたカラスのひなを拾った。ジャックと名づけ育てる中で、彼は帰還兵の父の過去を知る。少年と野鳥のきずなや、戦争の傷を抱えながら懸命に生きる人々を、実話に基づき丁寧に描く。ジャックとの突然の別離を経て、命の重みと向き合い、成長するミックの姿が静かな感動を呼ぶ。

森のユキヒョウ

C. C. ハリントン著 中野怜奈訳 岩波書店 2025

¥2,000 317p 中学生～ 978-4-00-116431-2



吃音^{きつおん}があるマギーは祖父の元で過ごす中、森で捨てられたユキヒョウと出会う。しかし開発による森林伐採を契機に、ユキヒョウは危険と見なされ捕まえられる。人とうまく話せず傷ついた少女が、自然とのふれあいを通してありのままの自分を受け入れる姿を情景豊かに描く。勇気を出して野生動物のために声を上げる姿が胸をうつ。

☆ふしぎな はごろも

さい ころ 著 石田 稔 徳間書店 2025

¥2,200 41p 27cm 小・中学年〜 978-4-19-866052-9



勤勉なアツォワンは、貧乏なので嫁をもらう代わりに絵師に美しい娘の絵を描いてもらう。アツアイと名付け毎日話しかけると、絵から出てきて若者の伴侶となった。皇帝が出す数々の難題を、アツアイが不思議な力を使って解決していく展開に目が離せない。力強い筆致で描かれた色鮮やかな中国・ミャオ族の世界に引き込まれる。

○ 歴史・伝記物語 ○

..... 〈小学校高学年〜〉

加藤セチと女性科学者たち

加藤祐輔著 玉川大学出版部 2025

¥2,500 174p 小・高学年〜 978-4-472-06026-7



1922年、理化学研究所で初の女性研究員となった化学者・加藤セチ。彼女は性別を理由に大学で正規の学生になれず、入所した研究所では一番下の役職だった。男性より不利な条件下でも好きな研究を続け、遂には女性初の主任研究員となる。セチの一人称で語られる、女性が活躍できる道を切り開いていく物語に、心を動かされる。

○ 詩・ずいひつ・記録 ○

..... 〈幼児〜〉

★きたよ きたよ きせつの子

杉本深由起著 吉田尚令絵 あかね書房 2025

¥1,600 34p 22×24cm 幼児〜 978-4-251-09985-3



「はる・なつ・あき・ふゆ きせつの子 どのこも げんき どのこも たのしい」 はるのこは忘れものの名人で、なかなか春がやってこない。なつの子はとても早起きで、麦わら帽子をかぶって外に飛び出す。季節の訪れを擬人化し、リズムカルに自然や情景をうたい上げる詩の絵本。素朴で温かみのあるちぎり絵が魅力的だ。

..... 〈小学校中学年〜〉

一郎くんの写真 一日章旗の持ち主をさがしてー

木原育子著 沢野ひとし絵 福音館書店 2025

¥1,300 39p 小・中学年〜 978-4-8340-8863-2



2014年、アメリカで「一郎君へ」と59人の名前がよせ書きされた日章旗が見つかった。新聞記者の著者は一郎という人物を探すため、よせ書きした人々を訪ねる。根気強く取材を重ねていくうちに、一枚の写真へとたどり着いた。出征の日の様子や見送った人々の思いが明かされ、戦争により奪われた命の重みが痛切に伝わる。

..... 〈中学生〜〉

子どもも兵士になった ー沖縄・三中学徒隊の戦世ー

真鍋和子著 多屋光孫^{みつひら}絵 童心社 2025

¥1,800 239p 中学生〜 978-4-494-02089-8



太平洋戦争末期、沖縄では14歳以上の生徒が召集され兵士となった。十分な武器も与えられず、戦況が厳しくなると見捨てられ、多くが命を落とした。沖縄本島北部にあった第三中学校の少年らの生活が、戦争により一変する様を描く。元学徒兵への取材を基に語られる悲惨な事実が胸が痛み、戦争の愚かさを思い知らされる。

○ 知識の本 ○

..... 〈幼児〜〉

★つめたい こおり どんなかたち？

伊地知英信著 細島雅代写真 岩崎書店 2024
 ¥1,400 33p 25cm 幼児〜 978-4-265-83153-1



日に当たると輝く霜柱や太さ8メートルのつららなど、様々な氷を明瞭な写真で紹介する。バケツに浮かぶ手形のような氷や、上へ伸びたような「たけのごおり」など、その不思議な姿に驚かされる。「きらきら」「ほわほわ」のような氷の様子を表す擬態語が好奇心をくすぐり、やさしい言葉で成り立ちが解説され理解が深まる。

★テントウムシ みっけ！

里中正紀著 徳間書店 2025
 ¥1,700 33p 19×27cm 幼児〜 978-4-19-865975-2



テントウムシを探す手掛かりは、カラスノエンドウとそこに集まるアブラムシだ。テントウムシは1日に約100匹のアブラムシを食べ、触れられると死んだふりをし、身を守るため脚から黄色い液体を出す。それらの興味深い生態を、やさしい文章と虫たちに密着した鮮明な写真で紹介する。実際に見たり触ったりして確かめたくなる。

★みっちりつぶつぶとうもろこし

いわさ ゆうこ著・絵 童心社 2025
 ¥1,200 24p 21×23cm 幼児〜 978-4-494-02253-3



実がぎっしりつまったとうもろこしはどうやってできるのかな？ 茶色のひげの正体は？ 雌花と雄花を拡大して、その仕組みを分かりやすく解説する。心地よいリズムのオノマトペとともに、さまざまなとうもろこしの種類や魅力についても紹介される。一粒一粒が精緻に描かれたとうもろこしは、写実的で食欲をそそられる。

☆おせち

内田有美著・絵 ^{みつどめ} 満留邦子料理 三浦康子監修 福音館書店 2024

¥1,000 31p 20×27cm 小・低学年～ 978-4-8340-8813-7



くろまめは、まめまめしくくませますように。かずのこは、子どもがいっぱい生まれますように。えびは、としをとるまでげんきでいられますように。日本の伝統的なおせち料理を、写真のように細密で色彩豊かな絵とリズムカルな言葉で紹介する。込められた願いを考えながら、ひとつひとつのおせちを丁寧に味わいたくなる。

☆すずめばち

^{たての} 館野 ^{ひろし} 鴻著・絵 福音館書店 2025

¥1,700 40p 24×31cm 小・低学年～ 978-4-8340-8858-8



春、一匹のすずめばちの女王が卵を産み、作った巣を大きくする。女王は体がぼろぼろになるまで産卵し、働きばちは幼虫のために休みなく狩りをし、巣を守って死んでいく。生きるための営みが、勢いのある筆致と迫力ある構図で画面いっぱい描かれる。余分な感傷を排した文章と絵が、種をつなぐ自然の摂理を伝え、胸を打つ。

☆わたしの ちいさな いきものえん

大島加奈子著・絵 福音館書店 2025

¥1,200 27p 26cm 小・低学年～ 978-4-8340-8843-4



キャベツの葉にアオムシを発見。チョウになるまで育ててみよう。いちごのパックで家を作り、エサをあげフンを掃除する。庭で見つけたダンゴムシやカタツムリ等、小さな生き物を世話する様子を、優しい色彩の絵で伝える。飼育容器は家にあるもので簡単に作ることができ、飼育のポイントも分かりやすく、育ててみたくなる。

☆巨石運搬！ ―海をこえて大阪城へ―

鎌田 歩著・絵 アリス館 2024

¥1,600 36p 27cm 小・中学年〜 978-4-7520-1121-7



約400年前、大阪城を作るために瀬戸内海の島から多くの石が運ばれた。高くそびえるがけから巨石を切り出し、船で大阪へ運び、城の建築現場へ届けるまでを描く。作業に従事する石工や運搬を指揮する侍の様子が躍動感をこめて描かれ、石切り歌やノミの音が聞こえてきそう。折り込みページを使った迫力ある画面に引き込まれる。

「植物」をやめた植物たち

末次健司著・写真 福音館書店 2024

¥1,300 39p 小・中学年〜 978-4-8340-8811-3



多くの植物は光合成で栄養を作るが、菌類から養分をもらうものもある。腐ったキノコの匂いで虫を呼び寄せたり、花を咲かせずに自家受粉したりする。珍しい生態を、一般的な植物と比較しながらわかりやすく解説する。真っ青や深紅などカラフルな姿が豊富な写真で紹介され、植物の多様性や生命力の強さが伝わってくる。

スマイルカットでみんな笑顔に！

―発達障がいの子どもによりそう美容師さん―

別司芳子著 校成出版社 2025

¥1,600 143p 小・中学年〜 978-4-333-02935-8



美容師の赤松さんは散髪が苦手な子のために「スマイルカット」という活動を始めた。じっと座ってられない子には絵で流れをわかりやすく伝え、大きな音でパニックになる子にはバリカンを使わずに、笑顔でカットを終えるのだ。講習会で活動を全国に広め、自治体に訴え条例や法律まで変えた、赤松さんの熱い思いが伝わる。

☆てんぐさ —だいかつやく うみの まっかな かいそうたち—

田中次郎著 青木優和著 畑中富美子絵 仮説社 2025

¥1,800 42p 25cm 小・中学年～ 978-4-7735-0338-8



ところてんや寒天の原料となるてんぐさ。色が赤いのは、海の深いところで太陽光を吸収するためだ。生態や収穫方法、ところてん加工までを平易な文章で伝える。食品加工以外にも、薬のカプセルや化粧品など広い分野での活用が紹介される。見返しにまであふれる書き込まれたふろく情報に、海藻に対する情熱を感じる。

みんなをつなぐアイヌの糸

横塚眞己人著・写真 ほるぷ出版 2025

¥1,850 41p 小・中学年～ 978-4-593-10426-0



「アットゥシ」は、アイヌの女性たちが織ってきた伝統的な布だ。原料の固い木の皮からどのように柔らかな布を作るのか。60年以上織り続ける貝澤雪子さんを訪ね、その作業工程を豊富な写真で伝える。アイヌの工芸品や食文化などの伝承活動も紹介する。彼女が紡いできた糸や伝統、周囲の人々とのきずなが印象的だ。

..... 〈小学校高学年〉

世界の納豆をめぐる探検

高野秀行著・写真 スケラッコ絵 福音館書店 2024

¥1,300 47p 小・高学年～ 978-4-8340-8810-6



日本ではおなじみの納豆、その仲間がアジアやアフリカにも存在する。せんべい状にしたりスープや調味料にしたりと、世界中の納豆のさまざまな食べ方を紹介する。豊富なイラストと写真で解説される納豆料理は興味深く、実際に食べてみたくなる。歴史や起源の謎についても知ることができ、身近な食べ物の奥深さに驚かされる。

パンダのタンタン —二人の飼育員との約束—

杉浦大悟著 中村 愛絵 講談社 2024

¥1,550 199p 小・高学年～ 978-4-06-536966-1



2000年、震災の復興のシンボルとして中国から神戸市立王子動物園にやってきたタンタン。晩年心臓を患い、闘病の日々を送った。上品に見える容姿から「神戸のお嬢さま」と親しまれ、亡くなってなお愛されている彼女の一生と、愛情深く接した飼育員たちの姿を伝える。優しい筆致の挿絵は可愛らしく、写真や図が理解を助ける。

もしも明日、ぼくの足がなくなったら

舟崎泉美著 G a k k e n 2025

¥1,300 191p 小・高学年～ 978-4-05-205721-2



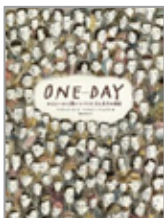
年齢も足を失った経緯も異なる5人へのインタビュー集。スポーツ一筋だったがけがで足を切断、厳しいリハビリを経て、義足で再び走れるようになったケイさんなど、生きるための選択肢として前向きに義足を受け入れる過程が丁寧に描かれる。義足の動きを表したイラストや、ユーザーたちの写真により、義足への理解が深まる。

☆ONE DAY —ホロコーストと闘いつづけた父と息子の実話—

マイケル・ローゼン著 ベンジャミン・フィリップス絵 横山和江訳

鈴木出版 2025

¥2,000 33p 31cm 小・高学年～ 978-4-7902-5449-2



ユダヤ人のぼくと父はナチスに捕まり、収容所に送られた。重労働と乏しい食事の中、その日を切り抜けたら「またつぎの一日を」と日々を生き延び、ついに2人は脱出する。暗い色彩で描きこまれた絵が、かろうじて希望をつなぐ日々を表す。自分に言い聞かせるように繰り返す言葉が、絶望的な状況で生きる人間の意志を伝える。

「子どもの本棚」委員会選定規準

1. 著者（訳者、画家、編者、監修者を含む）

- (1) 著者の経歴については、信頼に足りるか。すでに著作がある著者については、それまでの著作と比較して評価できるか。
- (2) 知識の本については、信頼のおける研究成果や執筆の動機があるか。

2. 出版社

本作りに対する姿勢はたしかか。その目的、意図、方針などはどうか。

3. 内容

- (1) 著者の意図する読者に適した内容になっているか。
- (2) 子どもの知的、または、情緒的な経験を広げることのできるものであるか。また、子どもの多様な興味やニーズに応えることのできるものであるか。
- (3) 著者の考えが、読者にきちんと伝わるか。
- (4) 作品のテーマや構成が、読者を引きつけ、文学性豊かなものであるか。
- (5) 絵本の場合は、文章と絵の関係がうまく調和しているか。
- (6) 知識の本の場合は、正確でわかりやすく、新しい知見が紹介されているか。また、索引や目次が必要かつ十分につけられているか。増補、改訂が適切にされているか。

4. 表現

- (1) 読者の発達段階に適した表現を用いているか。
- (2) 子どもの心情を豊かにするよう叙述されているか。
- (3) 文章は明確で、しかも簡潔に書かれているか。
- (4) 漢字、かな使い、ふりがなが適切か。
- (5) 写真、絵画は、美術性をそなえているか。
- (6) 知識の本の場合は、明りょうで正確な写真、絵、グラフ、図表などにより視覚化し、子どもの理解を助けているか。

5. 形態

- (1) 紙質、印刷、判型、活字、組版は適切であるか。
- (2) 装丁は適切で、美しく、好ましい印象を与えるか。
- (3) 造本は内容に適したもので、取り扱いやすいか。
- (4) 印刷は鮮明で見やすいか。

6. 価格

内容にふさわしく適切か。

7. その他

- (1) 古典、翻訳作品については、原文の意味を正確に伝え、理解しやすいか。また、原著の持ち味そのままをあらわし、原著について解説がつけてあるか。
- (2) 民話、神話、伝説については、ストーリーがしっかりしたもので、再話に際し、適切な表現を用いているか。

1981年7月制定

2013年3月改訂

子どもの本棚委員

委員長

利用サービス担当課長

戸倉 信昭

委員

課長 小西 敏章

課長代理 岡本 泰子

外丸須美乃

檜崎 佳代

担当係長 土岐 真弓

池田知扶美 石原 ふじ

奥村 早 小田 洋司

小橋 弘美 工藤 未越

進川 知世 中谷真由美

花本 ゆり 平田 満子

対象年齢別索引

☆：絵本 ◆：行事読み聞かせ向き

赤ちゃん～

○ 本の世界のはじめに(絵本) ○

- ☆◆くだもの らららん……………6
- ☆◆たいこどんどん……………6
- ☆◆ぴったりこ……………6

幼児～

○ 本の世界のはじめに(絵本) ○

- ☆あかりを ひとつ
ともしてみたら……………7
- ☆◆おひげピンピン……………7
- ☆◆おやつどろぼう……………7
- ☆◆ぐうたらねこ……………8
- ☆ともだち……………8
- ☆はじめての うみ……………8
- ☆まよなかの おはなしかい…9
- ☆ゆきのこえ……………9

○ 詩・ずいひつ・記録 ○

- ☆きたよ きたよ きせつこのこ 22

○ 知識の本 ○

- ☆つめたい こおり
どんなかたち?……………23
- ☆テントウムシ みつけ! ……23
- ☆みっちりつぶつぶ
とうもろこし……………23

小学校低学年～

○ 本の世界のはじめに(絵本) ○

- ☆ひぐま……………9

- ☆みんな みんな
とつても すてき……………10

○ 物語 ○

- どろぼうジャンボリ……………10
- のこったスイカはだれのもの 11
- ペンギンのトビオ……………11
- 山の学校
キツネのとしょいいん…11

○ よみつがれてきた物語 ○

- ティンガティンガ・アートで
たのしむアフリカの
むかしばなし……………20

○ 知識の本 ○

- ☆おせち……………24
- ☆すずめばち……………24
- ☆わたしの ちいさな
いきものえん……………24

小学校中学年～

○ 本の世界のはじめに(絵本) ○

- ☆シリアの秘密の図書館……………10

○ 物語 ○

- おばあちゃんのかかね色…12
- 煙のように消えるねこ……………12
- ゴロゴロヤマネコ不動産…12
- サメのイエニー……………13
- それからぼくはひとりで歩く 13
- マイヤーさんと
大きくなりすぎた犬……………13

○ よみつがれてきた物語 ○
 ☆ふしぎな はごろも…………… 21

○ 詩・ずいひつ・記録 ○
 一郎くんの写真…………… 22

○ 知識の本 ○
 ☆巨石運搬！…………… 25
 「植物」をやめた植物たち… 25
 スマイルカットで
 みんな笑顔に！…………… 25
 ☆てんぐさ…………… 26
 みんなをつなぐアイヌの糸… 26

小学校高学年～

○ 物語 ○
 王様のキャリー…………… 14
 おおなわ跳びません…………… 14
 風花、推してまいる！…………… 14
 銀樹…………… 15
 この手はいつか…………… 15
 しじんのゆうびんやさん… 15
 白い虹を投げる…………… 16
 ダンス・フレンド…………… 16
 中国のフェアリー・テール… 16

読書感想文が終わらない！… 17
 マナティーがいた夏…………… 17
 みおちゃんも猫
 好きだよね？…………… 17

○ 歴史・伝記物語 ○
 加藤セチと女性科学者たち… 21

○ 知識の本 ○
 世界の納豆をめぐる探検… 26
 パンダのタンタン…………… 27
 もしも明日、
 ぼくの足がなくなったら… 27
 ☆ONE DAY…………… 27

中学生～

○ 物語 ○
 アリーチェと魔法の書…………… 18
 カトーレンの王…………… 18
 ぼくの中にある光…………… 18
 みかんファミリー…………… 19
 森に帰らなかったカラス… 19
 森のユキヒョウ…………… 19

○ 詩・ずいひつ・記録 ○
 子どもも兵士になった…………… 22

令和8年3月20日発行

こどものほんだな2026

編集兼発行者 大阪市立中央図書館 利用サービス担当
 発行所 大阪市立中央図書館
 〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2
 TEL 06-6539-3301
 大阪市立図書館ホームページ
<https://www.oml.city.osaka.lg.jp/>

大阪市の図書館案内

子どもの本に関するご相談は、各図書館どうぞ。

中央図書館	〒550-0014 西区北堀江4-3-2	
	貸出・返却	TEL06-6539-3301
	調査・相談	TEL06-6539-3302
	予約本についてのお問い合わせ	TEL06-6539-3303
	インフォメーション	TEL06-6539-3300
旭図書館	〒535-0003 旭区中宮1-11-14	TEL06-6955-0307
M&A総合研究所	阿倍野図書館	
	〒545-0052 阿倍野区阿倍野筋4-19-118	TEL06-6656-1009
 ケア・キューブ生野ライブラリー（生野図書館）		
	〒544-0021 生野区勝山南4-7-11	TEL06-6717-2381
FPO北図書館	〒531-0074 北区本庄東3-8-2	TEL06-6375-0410
M&A総合研究所	此花図書館	
	〒554-0014 此花区四貫島1-1-18	TEL06-6463-3463
M&A総合研究所	島之内図書館	
	〒542-0082 中央区島之内2-12-31	TEL06-6211-3645
城東図書館	〒536-0005 城東区中央3-5-45	TEL06-6933-0350
住之江図書館	〒559-0015 住之江区南加賀屋3-1-20	TEL06-6683-2788
住吉図書館	〒558-0041 住吉区南住吉3-15-57	TEL06-6606-4946
M&A総合研究所	大正図書館	
	〒551-0003 大正区千島2-6-15	TEL06-6552-1116
鶴見図書館	〒538-0052 鶴見区横堤5-3-15	TEL06-6913-0772
M&A総合研究所	天王寺図書館	
	〒543-0037 天王寺区上之宮町4-47	TEL06-6771-2840
浪速図書館	〒556-0015 浪速区敷津西1-5-23	TEL06-6632-4946
西成図書館	〒557-0041 西成区岸里1-1-50	TEL06-6659-2346
西淀川図書館	〒555-0012 西淀川区御幣島1-2-10	TEL06-6474-7900
東住吉図書館	〒546-0032 東住吉区東田辺2-11-28	TEL06-6699-7000
M&A総合研究所	東成図書館	
	〒537-0014 東成区大今里西3-2-17	TEL06-6972-0727
M&A総合研究所	東淀川図書館	
	〒533-0023 東淀川区東淡路1-4-53	TEL06-6323-5476
平野図書館	〒547-0043 平野区平野東1-8-2	TEL06-6793-0881
M&A総合研究所	福島図書館	
	〒553-0006 福島区吉野3-17-23	TEL06-6468-2336
港図書館	〒552-0003 港区磯路1-7-17	TEL06-6576-2346
M&A総合研究所	都島図書館	
	〒534-0027 都島区中野町2-16-25	TEL06-6354-3229
淀川図書館	〒532-0023 淀川区十三東1-18-18	TEL06-6305-2346



OSAKA
MUNICIPAL
LIBRARY